

《Lesson 2》 新しい助動詞 否定文

否定文の作り方は簡単。なぜなら、こちらも can や will のように

基本的に助動詞の後に not を足せば完成だから

(“have to” の場合は、「do not/ does not / did not + have to」の形となる)

です。つまり、基本の形は

主語 + 助動詞 not + 一般動詞 + ~.

という形になります。

(1) **should not (shouldn't)** = ~するべきではない / ~しないほうがよい

<例> You **should not (shouldn't)** drink that. (あなたは、あれを飲むべきではないです)

We **should not (shouldn't)** open the window. (私たちは、窓を開けないほうがよいです)

(2) **must not (mustn't)** = ~してはいけない (may not よりも強い禁止)

<例> She **must not (mustn't)** go there. (彼女は、そこに行くてはいけません)

You **must not (mustn't)** use this machine. (あなたは、この機械を使ってはいけません)

(3) **do not (don't) have to** = ~しなくてもいい

<例> We **do not (don't) have to** finish this. (私たちはこれを終わらせなくてもいいです)

She **does not (doesn't) have to** come here. (彼女はここに来なくてもいいです)

(4) **could not (couldn't)** = ~できなかった (cannot の過去形)

<例> I **could not (couldn't)** help him. (私は、彼を助けることができませんでした)

They **could not (couldn't)** go to France. (彼らは、フランスに行くことができませんでした)

(5) **may not** (省略形はない) = ~することはできない (cannot の丁寧な言い方)

= ~でないかもしれない

<例> You **may not** stay here. (あなたは、ここにいることはできません)

He **may not** like the present. (彼はプレゼントを気に入らないかもしれません)